

http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~fms-01/kankyo/kankyo_index.html

1. 環境理念・方針

基本理念

国立大学法人 山口大学は、「発見し・はぐくみ・かたちにする知の広場」の理念のもと、地域共生型キャンパスの創生と持続的発展可能な社会形成への貢献に努めるとともに、教職員、学生が自らの意欲を高め、その持てる能力を十二分に発揮して、地域環境の保全と環境負荷の低減をめざした取組み・活動を行います。

基本方針

- (1) 事業活動における環境負荷の低減 (温室効果ガス排出抑制、グリーン購入、廃棄物抑制等)
- (2) 環境貢献技術の創出 (環境保全のための科学技術の研究、開発の推進)
- (3) 環境モラルの醸成 (環境基礎、環境モラル醸成のための教育カリキュラムの充実)
- (4) 地域との協調・コミュニケーション (地域住民との触れ合い、職員・学生の自主活動による社会、環境貢献)
- (5) 法規制の遵守とマネジメントシステムの整備・充実 (環境配慮の取り組みのための管理体制の整備)

2006年8月1日



国立大学法人山口大学
学長 丸本 卓哉

2. 環境目標と具体的な取組

基本方針	分類	担当	具体的な取組	2011年度目標	自己評価
事業活動における環境負荷の低減	温室効果ガス排出抑制	施設環境部	基本理念に基づき管理活動により温室効果ガスの削減を図る	2008～2012年度の5年間で、運営年度の2007年度比を1%削減(削減率)とする	△
	グリーン購入の推進	財務部・施設環境部	環境配慮物品の調達	グリーン調達率 100%	○
	森林保護	総合企画部・総務部・施設環境部	可搬印刷等の廃止による印刷物の削減	印刷物の削減に努める	○
環境貢献技術の創出	環境研究	学部等	最先端・最先端レベルの研究開発	地球環境にやさしい研究開発の推進	○
	環境教育	学生支援部・学部等	学生への環境教育の実施	学生に対する環境教育の徹底	○
環境モラルの醸成	学内環境美化	学部等・学生支援部・施設環境部	学内環境美化運動の促進	学内緑化及び学内一斉清掃の実施	○
	地域との協働・コミュニケーション	学務部・学生支援部・総合企画部	各種媒体を通じた環境情報の発信	関係者に対する環境情報の提供	○
法規制の遵守	大気汚染防止	施設環境部	化学物質等の使用量の削減	グリーンケミストリーの推進	○
	水質汚染防止	施設環境部	化学物質取扱教育への教育・訓練	排水基準の遵守	○
マネジメントシステムの整備・充実	環境マネジメントシステムの構築	施設環境部	環境マネジメントシステム構築の推進	環境マネジメントシステムの定着	○

3. 環境配慮活動の状況

◆廃棄物排出量の削減



◆温室効果ガス排出量の削減と建物等の施設整備



5. 環境配慮等の取組状況

◆附属光小学校

～美しい環境を守ろう！
「光グリーン大作戦 in 光小」～



御手洗場のゴミを拾い、分別する子どもたち

◆間伐材原料の「割り箸」使用と回収の取組

2011年4月から食堂で排出される廃食用油をバイオディーゼルの燃料へのリサイクルを開始しました。1ヶ月に約200リットルの廃食用油をリサイクルしています。



◆ペットボトルキャップ、フィルタ回収



4. 環境管理体制

国立大学法人山口大学環境マネジメント体制に関する要項 (2006年1月16日制定) 制定

- (1) 環境関連法規制の収集、評価
- (2) 環境影響調査、評価の概要
- (3) 環境配慮推進員の活動状況
- (4) 内部監査の結果

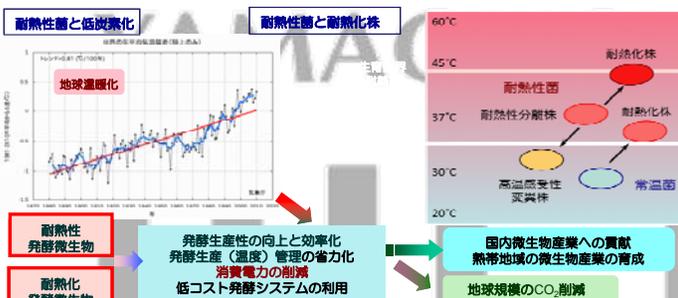


200th Anniversary
YAMAGUCHI UNIVERSITY
「志」つなぐ 伝える
二百年

6. 教育・研究・地域等の環境配慮およびトピックス

◆電力危機に対応する高温発酵系の開発

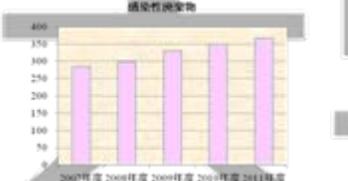
「発酵」を中心とする微生物産業は、食品や醸造分野のみならず、抗生物質や抗体医薬など、バイオ産業の中で最も大きな比重を占めています。エネルギー消費を抑制し、かつ安定な発酵生産が保障される「耐熱性」もしくは「耐熱化」発酵微生物を開発・利用することができれば「低炭素化」へ大きく貢献することができます。



7. 遵法管理の状況と情報交換

◆感染性産業廃棄物

処理をマニフェストによって確認し、適正に管理しています。



◆山口大学公開講座



「今日から始めるグリーンライフ講座」